



平井西小だより

令和5年12月1日
江戸川区立平井西小学校
校長 藤澤 優子
12月号 No.8

創り上げていく力 ～心と心の絆を深めながら～

校長 藤澤 優子

校庭の木々の葉も黄色に色づき、落葉をしてきました。この期間が今年には短く感じます。今年も残すところあと一か月となりました。教室に飾られた掲示物から2学期はたくさんの行事を行ってきたのだと改めて振り返ることができます。各クラス2学期の学習のまとめを行っています。しっかりとまとめをしていきます。

さて、先日の学習発表会には、多くの保護者・地域の皆様にご参観をいただきました。ありがとうございました。子供たちは、リハーサル、児童鑑賞日、保護者鑑賞日と三日間、緊張と戦いながら一日一日成長していきました。体育館練習は短い期間でしたが、学習を始めてから発表までの道のりは、長い期間を要しました。子供たち全員が、自分たちで学習してきた内容を、自分たちで準備をしてきました。どの学年も台本やプレゼンも子供たちが考え、作成しました。自分たちで考えたことを発表する日々の学習を大切にしてきたことの積み重ねが、今回の発表会を創り上げていくことにつながりました。自分の思いや考えを言語化できることは素晴らしいことです。それを他の人に表明できることは、さらに素晴らしいことです。一人一人の考えを表し、互いを受け入れ、高めながら、社会はよくなっていきます。この過程を忘れず持ち続けてほしいと願っています。発表は、学習過程全体をみるとほんの一部ですが、クラス内で行われる通常の授業における発表から比べますと、より多くの人に伝わるような声の大きさ、動き、学習した内容をクイズにし、より深まる工夫が多く見られました。保護者・地域の皆様、他学年のお友達に見られるという緊張感が、子供たちの発表に大きく影響するのだと改めて感じたところです。保護者の皆様方のアンケートからも今回の学習発表会が、子供たちの成長と価値ある教育活動であることを共有できたことをうれしく思います。与えられた学びではなく、子供も教職員も「わくわくする」学習、授業、教育活動を行っています。

最後になりましたが、年末年始、慌ただしくなりがちな時期です。子供たちにできる簡単なことはお手伝いをさせてください。そして「ありがとう、助かったよ」と声を掛けてあげてください。子供たちにとって、家族の役に立てたということはとても大きな喜びであり、自信につながります。ご協力よろしく申し上げます。

